

はたにじゅういっくしゅうらくかつどうそしき
波田21区集落活動組織（松本市）

・組織の活動面積	A=	21	ha
・組織の構成員数	約	21	人

組織形態	農地維持 <input checked="" type="checkbox"/>	資源向上(共同) <input type="checkbox"/>	資源向上(長寿命化) <input type="checkbox"/>
取組開始年度	平成26年～	—	—

構成員	21名のうち専業農家は5名で、3/4が企業勤めや自営業の兼業農家
-----	----------------------------------

組織の概要

- ・松本の西の山麓にある28世帯、100名の集落
- ・農業者の構成員21名と非農業者20名と一緒に活動
- ・戦後、満州から帰ってきて切り拓いた田畑や山から引いた水路、国の支援を得て作った溜池などを引き継いだ二代目と他から移り住んで来た住民が協力して維持管理

「開拓」と呼ばれる“きより”の良い集落です

例年は4月の漕役で始まるのですが、今年は“雨水”で倒れた木々をどかし、取水口・水路に行く道を確認することから始まりました。各人が十数台のチェーンソーを持寄り倒木を切り、重機も使って道の脇にどけました。

右下の写真が一番奥の取水口です。漕役では、ここから貯水槽、溜池を通して集落の田畑まで2kmぐらいの水路のどろを上げ、水漏れを補修、枯れ草をよけて整備しました。



当地区にもイノシシが出没し田畑を荒らすので、5月に電柵で集落の周りを8kmほど囲います。

設置前と8月に役員で除草剤を散布します。

猿も来るようになり、電柵で防ぎきれないので困ってます。

6月上旬と7月末、皆で水路・溜池周辺の草刈をします。

